



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

### ブラインドサッカー選手・加藤健人

5

加藤健人（以下、加藤氏）は、ブラインドサッカー選手である。高校生の頃に遺伝性の難病「レーベル病」で全盲になった。視力があった幼少の頃から楽しんでいたサッカーを引き続き練習し、パラリンピック種目のひとつであるブラインドサッカーの選手となった。ブラインドサッカーとは、視覚障がい者でもプレーできるように考案されたサッカーのことであり、視力を使わずに競技できる。加藤氏は2020年に開催される東京パラリンピックの日本代表強化指定選手として選抜されており、注目を集める選手のなかの一人である。

加藤氏は平日の昼間はアクサ生命保険株式会社（以下、アクサ生命）の社員として、アクサ生命社員に対してマッサージ施術する仕事をしている。アクサ生命は、個々の違いに価値を認める職場環境の醸成に力を入れている企業である。すべての社員が能力を発揮し、受け入れられる環境を創りだすことで「選ばれる会社」になるという戦略のもと、性別や障がい等による差別の禁止と雇用機会の均等に取り組んでいる。

10

15

15

### アクサ生命の障がい者雇用

20

アクサ生命では、「障がい者雇用はチャリティではなく、チャンス」という標語が掲げられている。障がいの有無に関わらず、意義のある職業機会の提供と戦力としての期待という雇用方針に基づき、積極的に障がい者の採用を進めている。「障がい者雇用はチームワークの良し悪しのリトマス試験紙」であり、障がい者の力を上手く引き出せるかどうかがマネジメントの試金石とみなされている。

アクサ生命の障がい者雇用のきっかけは、実雇用率が法定雇用率を下回っていたことにある。2009年3月当時、法定雇用率1.8%に対し、実雇用率が約1%であり、生命保険業界の中で最下位レベル

25

25

本ケースは、2014年から2018年にかけて実施した加藤氏へのインタビュー、および、第22回職業リハビリテーション研究・実践発表会（2014年12月2日、東京）、障がい者雇用実践セミナー～会社を元気にする戦略的CSR～（2015年4月15日、東京）の講演内容をもとに作成された。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は<http://www.bookpark.ne.jp/kbs/>から。

30

Copyright ©守屋 剛（2019年1月作成）